



Seven Rivers

富山県議会をわかりやすく。



https://
fujiidaisuke.com/
電話:076-471-7119

セブン・リバーズの定期読者の申し込みは、右のQRコード or お電話で！……………>>>

[セブン・リバーズとは?]

富山平野を流れる、七大河川のこと。3000mの立山から深海1000mの富山湾に流れこむ急峻な七大河川の治水対策が、明治時代の富山県議会の大きな政治課題だった歴史を踏まえ、藤井だいすけ県政報告のタイトルにいたしました。

イラスト：画像生成AI「ミッドジャーニー」で作成 <https://www.midjourney.com/>



特集

県立高校再編の議論で見えてくる、富山県の未来とは？

県議会の出前授業で
これまで高校生の声を
たくさん聞いてきました！



震災復興と人口減社会への対策に全力投球！

令和6年の元旦に能登半島地震が発生し、富山県でも多くの被害が出ました。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。

県議会としても発災直後から避難所運営や行政対応等の状況把握に努め、被災者の生活や仕事の再建のために何が必要か、過去の震災の事例をひもときながら、対策に知恵を絞りました。

また今回の震災では、被害の大きい石川県が優先される傾向にあったため、富山県でも同等の被害があった場合には同等の支援が受けられるよう政府に強く訴え続けてきました。今後も粘り強く対応していきます。

加えて新年度には、人口減少社会への対応や持続的な経済成長など、多くの課題が積み残されています。特に若い人たちが学びたい、住み続けたいと思う富山県にするため、今何をすべきか。地域の人や若い人たちも巻き込んで、未来に向けての議論を深めてまいります！

論で見えてくる、富山県の未来とは？

KENMIN NO GIMON

01

どうして県立高校の再編が必要なの？

令和19年には生徒数が7000人を下回り、現状の県立高校の数や規模は維持できなくなる

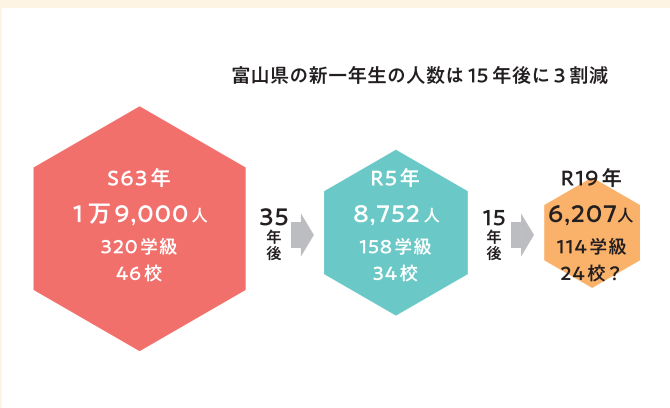
最初の議論は平成11年。生徒減少傾向はその頃から変わっていない

富山県議会で高校再編の議論が始まったのは平成11年頃とされ、今から25年前まで遡ります。当時の中沖知事は「この生徒減少期を魅力ある学校づくりの機会として捉える」と答弁しており、その問題意識は時代が経過しても変わらないことがわかります。

県内の生徒数の推移を見ますとピークは昭和63年の1万9000人で私が中学3年生だった頃と重なります。それから35年で9000人を切り、さらに15年後には7000人を下回る予測。つまりピーク時の1/3程度となるわけです。

学校数に着目するとピーク時は46校あったものが現在34校で生徒数の減少の割には、高校数は減っていません。それだけ高校を統廃合するとい

富山県の高校1年生人数の推移予測



うのは難しいということですが、統廃合しなければどうなるのか。多くの高校が1〜3学級と小規模化し、施設維持や教職員の確保等が難しくなる恐れが。少子化の傾向は底を打つ気配がない中で、今、思い切った決断をしなければ、未来に大きな宿題を残してしまうことになるのです。

◀昭和63年といえば、団塊ジュニア世代の中学卒業時期。私の通った新庄中学校は15クラス600名以上が在籍していました
※県立高校教育振興検討会議の資料を元に作成

KENMIN NO GIMON

02

小規模学校や少人数学級だと何が問題？

個別指導がしやすくなるなどの声がある一方、部活動の廃止や教員1人あたりの負担増が懸念

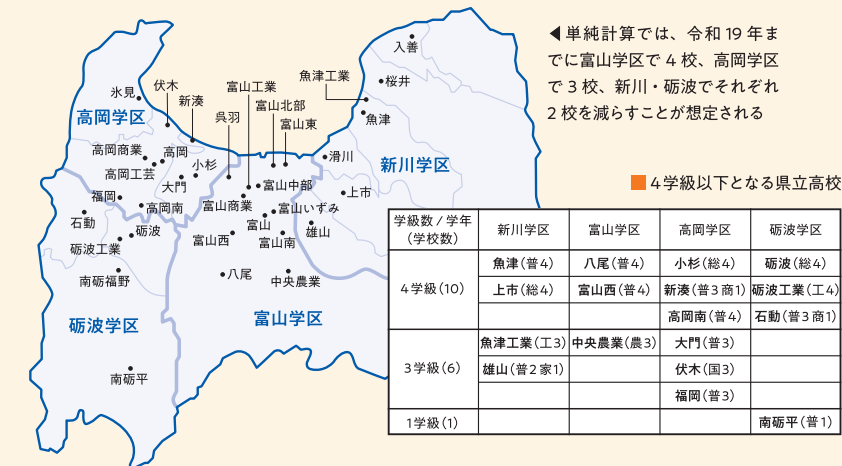
学校の小規模化と学級の少人数化と分けて考える必要が

「生徒が減った方が丁寧な個別指導ができるのでは？」との意見がありますが、一旦整理しておきたいのは①学校の小規模化と②学級の少人数化を分けて考えることです。

まずは①学校の小規模化です。県教育振興検討会議では県立学校の規模について、1学年4学級以上が望ましい、との答申が出されています。1学級40人とする160人、3学年で480人。これくらいの規模がないと、学校施設の維持管理、教員1人あたりの業務負担が釣り合わなくなるなどの弊害が懸念されます。運動会や文化祭の学校行事、部活動の活性化がなくなる恐れも。

次に②学級の少人数化です。文科省の標準法は1クラス40人とされていますが、そ

令和6年度現在の県立高校の分布



れより少なければ少ないほど丁寧な個別指導ができますが、一方生徒数が減っても教員の数は減らず、教育コストの増大や教員のなり手不足の懸念が。悩ましい問題なのです。

◀現在4学級の県立高校をリストアップすると17校。町に1校しかない高校も含まれている

だいすけが
皆さんのギモンに
答えます！



特集 県立高校再編の議

KENMIN NO GIMON

03

生徒数を増やす方法はないの？

県外学生の受け入れがいつに解禁。
南砺平高校で令和7年度から全国募集開始へ

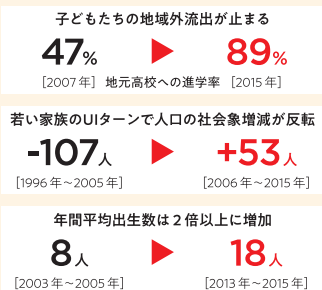
先進県である島根県の
しまね留学の視察が
検討開始のきっかけに

生徒数の減少による県立高校再編の議論は、当然ながら富山県だけの課題ではありません。島根県では全国に先駆けて、生徒の全国募集を行う「しまね留学」を実施し、大都市圏の学生を過疎地に呼び込んできました。その仕掛け人が、岩本悠さん。廃校寸前だった島根県の隠岐島前高校をV字回復させた実績を元に、特色ある公立高校を対象に全国で「地域みらい留学」を推進している社会起業家です。

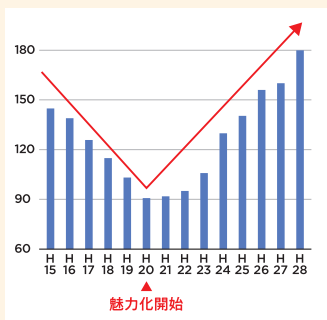
令和3年、私が当時所属していた県議会教育警務委員会の視察で島根県を訪れ岩本さんのお話を伺ってから、富山県でも同等の取組みができないか、教育委員会を含めた議論が始まりました。岩本さんに何度も富山に来ていただき、特に南砺平高校については

「全国でもこれほど特徴ある教育活動をしている学校はない」と高く評価。田中南砺市長や市職員も巻き込んだ結果、令和7年から富山県で初の全国募集が実現することに。生徒数の増加はもちろん、地元の子が県外留学生から刺激を受けることで、共に成長することも期待されます。

■ 県外学生受け入れによる地域の波及効果



■ 隠岐道前高校の生徒数の推移



▲隠岐島前高校の事例で、県立高校の魅力化・活性化は、生徒だけでなく地域も元気になっていく効果があることがわかる

▲隠岐島前高校では全国生徒募集から生徒数が倍増。この高校に通わせたい、と島に移住した家庭も

図表：地域・教育魅力化プラットフォームの資料より抜粋

KENMIN NO GIMON

04

地元から県立高校がなくなると困るの？

地域経済や公共交通維持への影響など
高校と地域に密接な関係があるのは事実

地域が当事者意識を持って議論に参加する
検討プロセスが重要

県立高校だけでなく、これまで地元にあった施設や環境が無くなってしまうと喪失感や寂しさを感じます。人口減少社会では、そういった感情と向き合いながら統廃合の決断をする難しさがあります。

実際に高校がなくなること、通学する学生がいなくなり公共交通が維持できなくなった、商店街に活気がなくなったなどの影響が出た事例があります。一方、生徒にとっては地元で高校があっても、学びたいと思う魅力がなければ選択しませんが、無くなると困るのは、そこに住む大人の事情だけなのでは？との意見があるのも事実です。

県立高校の再編は、生徒を主体に教育的観点で考えることはもちろん、統廃合が地元にも与える影響が大きいことを

理解し、地域と共に課題を共有し未来の教育環境を検討するプロセスが大切だと私は考えます。そこで自民党会派主催のタウンミーティングを企画し、中高生や保護者を交えた議論を行うことに。当事者意識ある地域住民から行政では思いつかないアイデアが生まれることを願っています。

■ 旧水橋高校（令和4年度末に閉校）



■ 旧泊高校（令和4年度末に閉校）



■ 地域での声を聞くワークショップ



右上／跡地の有効利用について公募型プロポーザル等実施したもの、いまだ活用方法が決まっていない
左上／2026年に富山市初の義務教育学校「水橋学園」として生まれ変わるべく、本年PFI方式での建設工事がスタート
左／議員も中高生や保護者に交じって、同じ目線で議論をするワークショップ形式の議論を実施。県議会会派が主催するタウンミーティングは非常に珍しい

2月定例会の議会質問をダイジェスト!

2024年1月1日、能登半島地震発災。
富山県内でも地滑りや液状化など
大きな被害が各地で発生した。

ポイント

令和6年2月定例会
本会議
一般質問

2024.3.5

※記載されている役職等は、
2024年3月時点のものです

2月定例会は新年度予算
を審議する特別な議会。
今年はそれ以上に重要な
案件が審議されていた。

新田知事に
おたずねします

全部で16問。
持ち時間、
足りるかな?

アセ
アセ

ドキドキ



私も自民党県連の
政務調査会の一員
として、県内各地の
被災状況を確認



- ①高岡や氷見の避難所に向き、不足した生活用品がないかをヒアリング
- ②氷見市姿地区の倒壊寸前の民家
- ③液状化でゆがんだ伏木駅付近の線路

政府や自民党本部へ出向き、堂故国
交副大臣や渡海政調会長に対し、液
状化や被災企業の復興支援を直接要
望。富山の被災状況を詳細に伝えた

ディベート!

今回の藤井だいすけの質問骨子

- ① 令和6年能登半島地震で発災した液状化対策等について
- ② 人口減少社会への対応と関係人口の創出について
- ③ 誰一人取り残さない教育と地域社会について



液状化対策の
抜本的支援が必要。
熊本地震と同等以上の
支援を県議会と共に国へ
求めていきたいと思います!

ズバッ

国には
特別交付税などの
十分な財政的支援が
得られるよう
要望していく

住宅耐震改修に
液状化対策を入れ込む
県独自メニューを創設した

ゴゴゴ

熊本地震では国による復興基金が設立され幅広い支援に使われていた。富山県では今のところ基金設立の動きはない



新田知事

いっぽう
質問
しました！



© 藤井かのん

マンガ風でレポート

藤井大輔の令和6年



10 中谷 商工労働部長

現時点では
カバー
できている。
不足した際は
改めて国に
申し入れる

石川県では15億円、富山県は3億円と企業再建支援の上限額に大きな差がある

被災した工場の
再建支援上限額、県内企業は
3億円で足りる？



11 津田 農林水産部長

40万円未満の
小規模災害も
含めできる
だけ多く
被災箇所を
支援する

農地・農業用水路は県全域で2000か所以上の被害が。「水を流してみないと全容がわからない」との指摘も

農地・農業用水路
の被災、どのように
支援していく？



12 武隈 危機管理局长

避難所の
飲料水や
ダンボール
ベッドなど
幅広い支援を
いただいた

協定を結んでいる企業や団体からは「県からの指示がなく動けなかった」との声も

災害時応援協定を
結んだ団体から
どんな支援があった？

令和6年能登半島地震の公的支援として富山県がまとめたパッケージの概要はこちら



《《ひとくちメモ》》

企業や商品のブランディングと自治体ブランディング、どう違う？

私は前職でメディアのブランディング経験がありますが、企業や商品のブランディングのノウハウが、自治体にそのまま応用できるとは思いません。目的が利益の最大化である場合は差別化を徹底すればよいのですが自治体の場合は県民の「共感・共鳴」が何より重要。県民運動に高める必要があるのです。

■ 企業のブランディングと場所（自治体）のブランディングの違い

	企業のブランディング	場所のブランディング
目的	利益の最大化、企業継続、社会的責任	産業振興、観光振興、移住/定住促進 企業誘致、住むことの幸福追求 場所・市民への愛着の増幅
主体	企業	行政、市民、ステークホルダー
焦点	認知、理解、体験、愛着、推奨	体感、体験、愛着、認知、理解
シンボル（集約点）	商品、店舗、社員、イベント、ロゴ ブランドステートメント	自宅と周辺地域、景観、商業施設 ランドマーク、建造物、住民、地域産品 歴史、キャラクター、ロゴ
評価指標	ブランド価値（金額換算）、認知、必要度 満足度、ロイヤリティ（継続使用）、推奨度	満足度、ロイヤリティ（定住意向）、 推奨度、認知、理解

※出典：「シティプロモーション超入門」／若林誠氏

若者の
県外流出の
要因を分析
するための
本格調査を！



13

これまでも東京に就職した
女性へのヒアリングなど
若者の意識把握に努めてきた

横田副知事

単なる意識調査ではなく、県内の若者を10年以上追跡するトラッキング調査を行うなど本質的な要因を把握しなければ課題は解決できない

14

キラッ

県民家庭の日に
合わせた寿司の
キャンペーンを実施

めい

「寿司
といえば、
富山」を
県民運動に
高めるには？



15

体制強化のために県民やメディアを啓発するPRの専門人材を近く公募するとの答弁も

16 新田知事



地域スポーツ
コミッション
を設立する
メリットは？



広島生活環境文化部長 22

全国規模の
大会やスポーツ
ツーリズム誘致
ができれば
関係人口の
増加につながる

富山マラソンや湾岸サイクリングのような全国から人が集まるイベントを増やしていく意向

北陸3県で富山の
来訪意向が最下位。
関西圏の若い世代で
その傾向が強い

ズバン!



関西圏情報発信拠点
が
7月開業する狙いは？



富山・石川・福井の3県
が共同で出店。7月31日
にグランドオープン



蔵堀副知事

19

正式名称は「HOKURIKU+（プラス）」に
決定。梅田駅近くのKITTEに設置される



富山県初の
PFI案件、
新川こども
施設の進捗は？

シヤキーン!

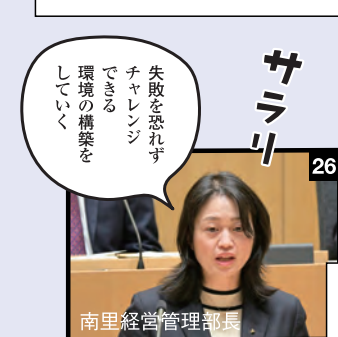


24

51億円余の
当初予算に計上。
9月頃には落札者を
決定したい

竹内地方創生局長

PFIとは民間活力を導入した公共施設整備のこと。
県武道館の基本設計が後倒しになったことで、新川
こども施設が富山県にとって初めての事例となる



失敗を恐れず
チャレンジ
できる
環境の構築を
していく

サリリ

26

南里経営管理部長



25

とがった
発想を持つ
県職員を
どのように
育成していく？

都市経営プロフェッショナルスクールで実践的な
官民連携ノウハウを学んだ県職員が増えており、
未来志向の政策実現を期待したい

《《ひとくちメモ》》

「くまモン」は「熊本サプライズ」 キャンペーンの副産物だった!?

2011年の九州新幹線全線開通の際、熊本県では「熊本サプライズ」キャンペーンを実施。その企画の発案者が放送作家の小山薫堂さんと、熊本に来た観光客をおもてなしで驚かせよう、というコンセプトでした。そのキャラクターが「くまモン」。よく見ると、目の表情が「びっくり」しています。

九州新幹線の開通直後に東日本大震災が発生したため、お祭りムードは一旦自粛となったもののサプライズキャンペーンは今でも県の広報等で継続されており、「くまモン」を使った広報戦略は世界にまで広がっているのです。



▲くまモンの目が「びっくり」しているのは「熊本サプライズ」を体現しているから



▲くまモンの仕掛人である小山薫堂さん（左端）。私がリクルート時代に仕事を一緒にさせていただいた

コラム

高校と地域の関係性を 仕事と家庭で例えてみたが……

新田知事は「高校」と「地域」を分けて考えると示されていたので、「高校と地域」を「仕事と家庭」に置き換えて考えてはどうか、と提案。仕事の悩みを家族と共有して決断すれば、その後家庭の協力も得られやすくなる、と説明したところ、新田知事から「私は仕事を家庭に持ち込んだことがないので」とのお答え。誰もがわかりやすい例えを考えるのは難しいと実感しました…。

僕にはちょっと
ピンと
こない例え
だったなあ



地域の声を
伺いながら
丁寧に
議論を
進めていく

ググ



新田知事

28

地域協議会の設置を求める自民党派に対し、頑なに首を縦に振らなかった新田知事だが、このほど地域ワークショップを実施することを名言された

県立高校再編の
議論、もっと地域との
対話が必要ではないか？

民間事業者
向けに動画配信や
研修会の実施を
呼びかける



34

改正障害者差別解消法により本年4月1日から民間事業者にも合理的配慮が義務化されているのだが、一般にあまり知られていないことを懸念している

有賀厚生部長

地域の理解や
協力が不可欠。
文化継承への
期待も大きいと
感じる

下



30

荻布教育長

南砺平高校での
全国生徒募集の開始
どう評価している？



31

4月に令和7年度からの県外学生受け入れが正式決定。富山県にとって初の事例となる

障害者への合理的配慮義務、
どのように広めていく？

これまで
富山県になかった
選択肢を
増やすためにも
もっと勉強を
重ねます！



35

今回は
事例が豊富で
わかりやす
かったぞ



36

■ 南砺平高校の全国募集の検討プロセス

右上／2022年7月に島留学の仕掛人・岩本悠さんを訪ね、教育委員会と一緒に島根県を視察
左上／2023年8月に南砺市で岩本さんの講演会。その後全国生徒募集準備会の設立につながった
左下／岩本悠さんを囲む意見交換会。田中市長をはじめ、地域や教育関係者が熱く語り合った

32

今回の議会質問を
ふりかえって

まずは震災対応が最優先だが、
中長期的な視点の議論も重要

2月議会は質問に登壇する議員が最も多い定例会で、ほとんどの議員が能登半島地震の復旧復興の対応に質問の時間を割いていました。当然、災害への緊急対応の優先順位が最も高くなるわけですが、人口減少社会の中で富山県の施設整備や教育制度をどのようにしていくべきか、中長期的な議論も平行して進める必要があります。

4月に富山県の人口が100万人を切ったと大々的に報道されていましたが、それはわかりきったことであり、現在目標としている2060年に80万人維持も、現実的にはかなり厳しい状況。私は人口が50万人を切っても持続できる社会にするため、人口増時代に作られたシステムや考え方を刷新し、ICTやAI等の技術革新で得られる利便性を最大限活用する土台を作っていくことが重要と考えます。

今後も県内外の先進事例の情報を収集し、議会で発信していきたいと思っております。

スマホやパソコンで
もっと県議会を身近に！

議会の議事録が検索できる！

「会議録の検索と閲覧」

過去の県議会の会議録が検索できる便利なサイト。平成6年からの本会議・予算特別委員会、平成12年からの政策討論委員会、平成13年からの委員会の会議録が登録されています。



<https://www.pref.toyama.dbsr.jp/index.php/>

議会の中継動画が見られる！

「インターネット議会中継」

本会議の生中継がスマホでどこでも見られます。また録画中継では、直近の富山県議会の本会議および予算特別委員会の録画映像を、次の定例会招集日前までご覧いただけます。



<https://toyama-pref.stream.jfit.co.jp/>

だいですけ独自解説が読める！

「藤井だいですけ公式LINE」

登録いただければ、メモ魔の藤井が議会中にとっている議事録や、藤井の独自視点での解説をアップします。県政報告誌のセブンリパズや、オリジナル動画もご覧になれます。



<https://lin.ee/AsXqb5A>

「県議会、どうでしょう!？」

第11回 / 遼寧省との友好交流で訪中してきました!

県議会には摩訶不思議なできごとや出来事がいっぱいあります。
そんな県議会の不思議に2期目の藤井だيسけが、
さながら潜入取材のごとく体験レポートをお届けいたします。
思わぬ本音が漏れることも?



11
藤井
大輔



2024年の5月15日から18日まで、富山県と友好県省を締結している中国・遼寧省に友好訪問団の一人として訪中してまいりました。今年は、友好県省が締結されて40周年の節目となります。

遼寧省は中国の東北地区に位置し、人口は約4200万人で富山県の41倍の面積を誇ります。瀋陽や大連といった大都市があり、瀋陽だけで人口は700万人を超えており、100万人を切った富山県よりもはるかにスケールが大きい地域です。

これまで遼寧省とは、大連ー富山の直行便（現在は休止中）もあり、職員・留学生の相互派遣、技術研修員の受入れ、民間団体・企業等の間での交流が積極的に行われていました。しかし新型コロナウイルスや日中関係の政情不安など、ここ最近の相互交流は停滞。それでも40周年を機に、遼寧省のトップである郭書記が4月に来日され、富山県でも記念祝賀会が開催されました。その際、私も郭書記や訪日団の方々とお話することができ、私が35年前、中学2年生のときに覚えた中国語の歌を披露したところ「それは『年青的朋友来』という曲ですよ!よくご存じです」と喜んでいただきました。

富山での短い交流の後、次は私たち富山県の訪中団が遼寧省

に伺ったわけですが、遼寧省政府および人民代表大会（日本の議会にあたる組織）から、とても盛大な歓迎を受けました。

遼寧省のわずか40分の1ほどの富山県に対する敬意を感じる訪中となりました。国家間での政治的・外交的な関係に距離がある時期であっても、こういった人と人とが直接触れ合う交流は、観光や産業振興の面はもちろん、国家安全保障の意味でも必要なことなのだと痛感。今後の政治活動に活かしたいと思います!



左上 / 4月20日に富山県で行われた40周年記念祝賀会。写真左から3番目の方が、遼寧省トップの郭書記
右上 / 5月15日に瀋陽市友誼賓館で、遼寧省の李楽成省長と富山県の新田知事が40周年を記念した覚書を調印
左 / 瀋陽市での式典では日中友好に力を注いだ富山県の政治家・松村謙三先生の紹介も

藤井だيسけをもっと身近に!

1 セブンリバーズ定期読書の 申込は公式サイトから!

藤井大輔県政通信「セブンリバーズ」は年2回~3回程度発行しています。定期読読ご希望の方は、こちらのQRコードもしくはお電話でお申し込みください。

公式サイト: fujidaisuke.com
電話: 076-471-7119



2 公式 X および 公式 LINE のフォローを!

藤井大輔の議員活動はもちろん、大輔が気になったニュースや話題をピックアップしてお届け。公式 X はほぼ毎日、公式 LINE は月2回程度更新しています。

公式 X (旧 Twitter):
https://twitter.com/fujii_toyama
公式 LINE:
<https://lin.ee/AsXqb5A>



3 6月13日のタウンミーティングに 参加してみませんか?



県議会の自民党会派が主催する、県立高校再編を考えるタウンミーティングの参加を募集しています。富山市は6月13日19時から。

お申込みはこちらのQRコードから⇒



藤井大輔 (ふじい・だيسけ) プロフィール

1973年(昭和48年)1月19日富山市生まれ。新庄幼稚園、新庄小学校、新庄中学校で育つ。富山中部高校、大阪大学経済学部を経て、95年株式会社リクルートに就職。2004年にはフリーマガジン『R25』を創刊し、編集長に。40歳を機に地元・富山市に戻り、福祉事業に携わる。社会福祉士の国家資格を持ち、地域包括支援センターや就労支援事業所の職員としても勤務。著書に『R25のつくりかた』(日本経済新聞出版社)、『議員という仕事』(共著・CAP出版)がある。19年4月富山県議会議員に初当選し、現在2期目。県議会最大会派の自民党富山県議会議員会で、副政務調査会長を務める。24歳の長男と16歳の長女の父。

藤井大輔へのお問い合わせは
下記までご連絡ください!

藤井大輔事務所
TEL: 076-471-7119
FAX: 076-471-7129
Email: d-fujii@fujidaisuke.com

